



◇師走 ～2学期終了!～◇

今年もいよいよ師走を迎えました。学期末には本格的な冬の天気になり、終業式は雪が舞う中で迎えることになりました。今学期も、たくさんの方々に生徒たちの成長を支えていただきました。保護者の皆様、地域の皆様には大変お世話になりました。心から感謝申し上げます。来る令和6年(2024年)もよろしくお願いいたします。



◇新生徒会役員決定◇

第50期の生徒会役員を決める選挙が行われ、11月30日(木)に立会演説会と投票が行われました。立候補者の皆さんは、11月20日から朝昇降口で、登校する生徒の皆さんに向けて選挙活動を行ってきました。そしていよいよ投票日を迎えました。体育館に全校生徒が集まり、6名の立候補者と応援演説の皆さんの最後の演説を聞いた後、投票を行いました。立候補者の皆さんは、応援演説の皆さんと一緒に、自分が目指す生徒会や湖南中の姿について、全校生徒の皆さんに分かりやすく、強い気持ちを込めて伝えてくれました。全校生徒の皆さんも、演説を真剣に聞きながら、誰に投票するとよいかしっかり考えていました。投票の結果、生徒会長は河本さん、副会長男子は目次さん、副会長女子は大島さんに決定しました。3学期には新生徒会の組織が確定して、新しい活動を始めます。



◇「人権週間」の取組から◇

◆人権作文の朗読◆

湖南中学校では「人権週間」合わせて、12月4日(月)から12月11日(月)の期間、人権教育に関する取組を実施しました。具体的には朝読書の時間に中学生が作成した人権作文に触れる機会を設けました。放送委員の生徒が人権作文を朗読し、全校生徒の皆さんは各教室で、印刷された人権作文を見ながらそれを聞きました。今回朗読された作文は「いじめ問題等の人権課題」「戦争と平和について」「外国籍の人たちについて」など、現代社会が抱える人権課題について書かれたものでした。この取組を通じて、生徒の皆さん一人一人が人権について様々な角度から考え、自分のこととして深く考えることができました。



◆人権アンケートの回答から◆

人権作文に触れる取組と並行して、全校生徒の皆さんに人権アンケートを実施しました。アンケートの結果から、生徒の皆さんが「人権意識が高まった」と感じた出来事として最も多かった回答は、授業(社会

科・学活・道徳)での学びでした。その他にも行事(体育祭・合唱コンクールなど)での体験や地域での活動(職場体験学習・公民館活動など)が多く回答されていました。今年度は、学校や地域の集団の中で、人と直接関わる機会が復活し、交流の中で人権感覚を磨くことができたのではないかと考えています。今後もこのアンケートの回答を分析して、人権教育を進める方法を検討していきたいと思いをします。

◇3年生の様子から◇

3年生の皆さんは大きな学校行事を終え、いよいよ進路決定に向けて進んでいきます。その前に生徒の皆さんの思い出に残る楽しい活動を実施しました。

◆校外学習に出かけました◆

1月2日(木)校内合唱コンクールの翌日に、3年生は岡山県の蒜山高原センター『ジョイフルパーク』に出かけました。当日は好天にも恵まれ、ジョイフルパーク内で思い切り楽しい時間を過ごしました。生徒の感想には「仲間と一緒に楽しい時間を過ごすことができ、本当に嬉しかったです。楽しい思い出ができました。」という感想がたくさんみられました。

◆球技大会で燃えました◆

2学期の期末試験が終わった後、12月13日(水)から15日(金)までの3日間をかけて、3年生は球技大会を行いました。種目はバスケットボールで、男女別に5学級総当たりのリーグ戦を行いました。各試合は大いに盛り上がり、競技と応援の両方で激しく火花を散らしていました。外は肌寒い天気でしたが、会場の体育館は熱気と歓声に溢れていました。部活動を引退してから日数が経っているため、思うように身体が動かず、珍プレーも続出したとか。全ての対戦の結果、3年4組が男女アベック優勝に輝きました。

◆進路決定に向けて◆

3年生は、各自の進路決定に向けた挑戦が始まります。受験先によって日程は異なりますが、3月5日・6日の島根県の公立高等学校の入試までに、私立高校や高等専門学校等の入試は終わり、3月14日(木)の合格発表を待つことになります。受験は団体戦と全員で壁を乗り越えて欲しいと思いをします。

◇交流学習に参加しました!◇

◆ふれあいフェスティバルに参加しました◆

1月30日(木)松江市内の中学校・義務教育学校の特別支援学級の生徒による「ふれあいフェスティバル」が開催されました。感染症による行動制限が緩和され、学校間の交流活動も徐々に復活しています。今年のフェスティバルでは、湖南中学校は後半(午後開催)のグループで参加しました。オープニングの司会は本校の3年生が務めました。はじめこそ緊張感でいっぱいでしたが、次第に慣れて、オープニングにふさわしい立派な司会ができました。クイズや歌、出し物など各校が考えた企画で大変盛り上がりました。湖南中の生徒たちはもちろん、参加した他校の生徒たちの表情からも、楽しくて、満足いっぱいのフェスティバルになったことがうかがえました。

